

要求性能(リクワイヤメント)素案 (概要)

【テーマ設定型(技術公募)】

『河川堤防において、除草後の徒歩点検に変えて変状箇所(モグラ穴等)を計測できる技術』

背景(主旨説明)

河川管理においては、長大な堤防の目視点検の効率化及び主観的・定性的な評価から客観的・定量的な評価が求められ、持続的かつ多くの現場で効果を発揮する点検手法が求められています。

テーマ設定型(技術公募)は、現場ニーズや行政ニーズ等により、求められる募集技術を明確にし、要求性能(リクワイヤメント)の下、開発された技術を広く民間事業者等から技術を公募し、同一条件下における比較表を作成し公表するものであります。

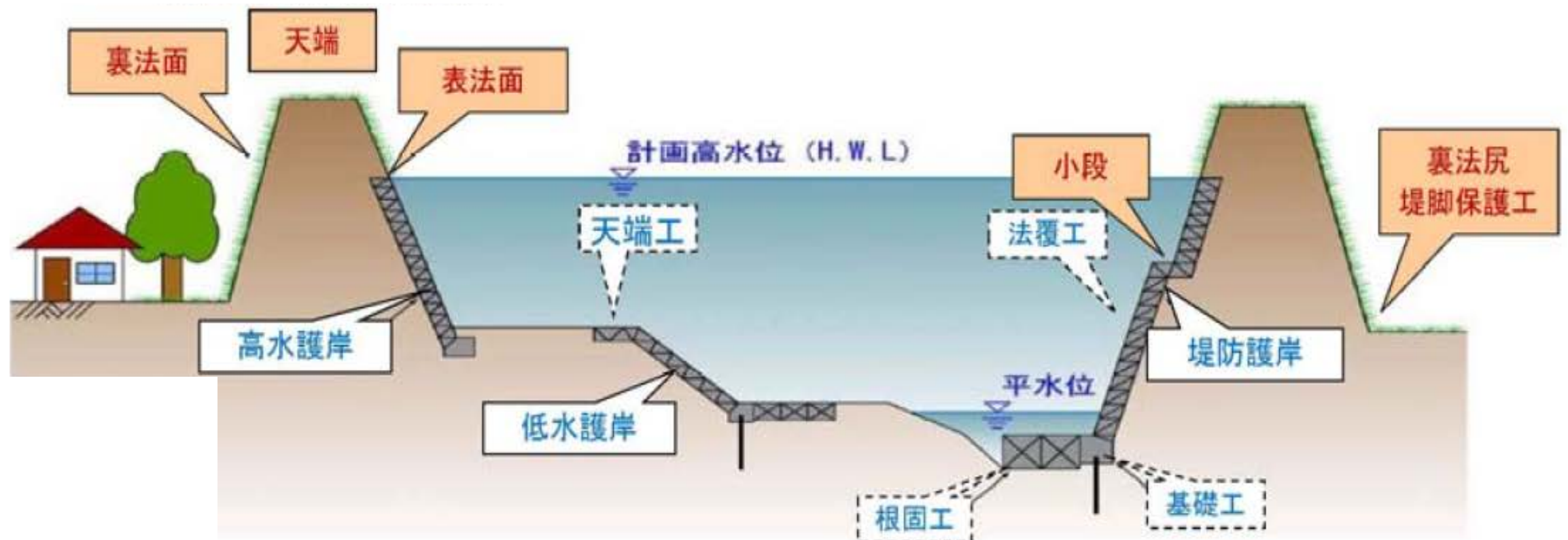
なお、リクワイヤメントの作成にあたっては、上記テーマに合致した河川堤防点検技術の特徴を踏まえた性能評価方法を整理するために、関係者の意見を把握した上で「性能評価項目及び試験方法の設定」を行うものです。

要求性能(リクワイヤメント)素案(概要)

基本条件等

- 対象とする河川堤防の施設区分 → 除草作業が生じる「土堤」
- 計測対象箇所
 - 土堤の目視点検・評価対象箇所である「法面・小段」、「天端」、「裏法尻部」、「堤脚水路」
- 計測対象とする変状
 - 堤防の計画断面との差、あるいは前回計測断面との差が生じた状況

■ 土堤における計測対象箇所



要求性能(リクワイヤメント)素案(概要)

■ 本テーマで募集する技術に要求する性能種別

- **基本性能** : 技術の基本的な性能として、土堤の除草後に行う徒歩による目視点検と同程度又は同程度以上の変状を計測できる性能を有し、変状箇所的位置情報、規模等も確認できること
- **効率性** : 徒歩による目視点検と比べて効率化が図られること
- **安全性** : 計測時の安全性確保、周辺環境への影響等が無いこと
- **計測性能** : 堤防形状を点群データで再現し、変状の有無と規模、変状の位置を計測できること
- **可視性** : 変状箇所の計測結果が画像等により表現、記録され、堤防の点検結果の評価等へ活用できること